

発行者 観 点	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書	日本文教出版	光文書院	学 研	廣 済 堂
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○主として自分自身に関することのうち、「個性の伸長」について（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公が、自分のよいところを友達に見付けてもらって嬉しくなる物語を教材として、自分や友達のよいところを伝えたり見つめ直したりする活動（「ええところ」） ・登場人物が好きなことを発表するお話を教材として、自分や友達のよさに気付く大切さについて考える活動（「すてきがいっぱい」） ・様々な友達が描かれた絵と文章を教材として、友達のよいところ、自分のよいところを見つけて発表する活動（「わたしのよいところ」） ・家族それぞれの「じょうず」なところを挙げた上で、そんな自分のことを「ほめじょうず」であると締めくくっている児童詩を教材として、自分や友達の「じょうず」なところを見付けたり、見つめ直したりする活動（「みんなじょうず」） ・子ペンギンが母親ペンギンに自分のよいところを教えてもらう物語を教材として、自分のよいところを見つけて活動（「ぼくは小さくて白い」） ・自分には「よいところ」がないと悩む主人公が、家族から「よいところ」を教えられて励まされる物語を教材として、自分や友達の「よいところ」を見付けて教え合ったり、家族に自分の「よいところ」を聞いてみる活動（「ぼくにもあるかな」） ・アンパンマンを生んだやなせたかしさんのあきらめずに好きな絵を書き続けた思いを教材として、自分のよさや好きなことについて考える活動（「大すきだから」） ・友達のよさを、はなまると表した文と絵を教材として、友達や自分のよいところを見付けたり、自分がほめられてうれしかったことを考えたりする活動（「みんなのはなまる」） 							
<p>○主として人との関わりに関することのうち、「友情・信頼」について（第4学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、主人公が迷う気持ちや行動について交流する活動（「大きな絵はがき」） ・仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、主人公が迷う気持ちや行動について交流する活動（「絵葉書きと切手」） ・クラスメイト全員の牛乳パックの片付けをやらされている友達が、本当の気持ちを聞かれて、「ぼくは、ああで仲間に入れないから」と涙ぐんだ物語を教材として、自分だったらどう声をかけるかを考える活動（「仲間だから」） ・友達の赤鬼に尽くした青鬼と、青鬼の思いに気付いた赤鬼の友情を描いた物語を教材として、友達とよりよい関係を築くことについて考える活動（「泣いた赤おに」） ・仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、主人公が迷う気持ちや行動について交流する活動（「絵はがきと切手」） ・北京オリンピックのソフトボール女子で試合を戦う選手たちと、怪我で代表から外れ、観客席から応援する選手とが、心を通い合わせて戦い、優勝した物語を教材として、友達との「協力」の仕方について考える活動（「十六番目の代表選手」） ・チームの仲間と共に戦い抜くことができた喜びを試合の結果以上に大切に思うなでしこジャパンの姿を描いた作品を教材として、本当の仲間とはどんなものなのかについて交流する活動（「なでしこジャパン」） ・学級の中で運動の苦手な仲間に対する周りの子供たちの心の動きや対応から、最後にはその仲間を励ます子供たちを書いた物語を教材として、友達とよりよい関係を築いていくことについて考える活動（「同じ仲間だから」） 								
<p>○主として集団や社会との関わりに関することのうち、「家族愛・家庭生活の充実」について（第5学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のために、父親が、夜、遠いところまで行って卵を分けてもらい、母親が卵焼きを作ってくれたことを知った主人公の話 ・父親が入院して看病のため忙しい母親に代わり、家事をする女の子の物語を教材として、家族の一員としてのどのようなこ ・認知症の症状が現われはじめた祖父に戸惑う主人公と、その祖父のためにできることをみんなの話し合った家族の物語を教 ・祖母に優しい態度を取れないで居る主人公を描いた物語を教材として、主人公の家族にとって祖母はどのような存在なの ・分担された家事を負担に思う主人公が、家族みんなの幸せを考えて家事をする両親の思いに気付く物語を教材として、実 ・新しくやってきたイギリス人の先生が、自分の家族を詳しく紹介してくれた物語を教材として、家族に様々な質問をする「ピ ・入院生活から帰ってきた母親を支えようとする主人公とその家族の姿が描かれた実話を教材として、主人公の思いや家族 ・聴覚障害と言語障害をもつ両親に名前を呼んでもらえない辛さを級友とのけんかで気付く、その辛さを両親にぶつけてい 								

を教材として、幼い日の感動をかみしめる主人公の思いを考える活動(「卵焼き」)	とができるか を考える活動 (「ベルフラワー」)	材として、自分にとって家族とはどのような存在かを考える活動(「わたしにできることを」)	かを考える活動(「祖母のりんご」)	際に担っている家事や今後できそうなことを考える活動(「家族のために」)	ンゴゲーム」の活動(「家族の紹介」)	の大切さについて話し合う活動(「ぼくがいるよ」)	く主人公に対して手話で心の思いを伝える物語を教材として、両親の願いを知り家族の大切さについて考える活動(「ぼくの名前よんで」)
--	--------------------------------	---	-------------------	-------------------------------------	--------------------	--------------------------	---

○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するものうち「生命の尊さ」について(第3学年)

<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災で祖父母を失った少年が、祖父母との楽しい思い出に支えられて前向きに生活する物語を教材として、少年が祖父母に見てほしいと感じている姿を考える活動(「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」) 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公たちがいじめていたヒキガエルを、荷車を背負ったロバがひかないようによけて通っていた姿に心打たれる物語を教材として、命の尊さについて考える活動(「ヒキガエルとロバ」) 	<ul style="list-style-type: none"> 白血病と戦い、7才で亡くなった丹後光祐君と、彼が大切に育てていたアサガオの骨髄バンクの運動に役立てることにした母親の物語を教材として、このアサガオにはどのような意味や力があるのかを考え、話し合う活動(「光祐くんのアサガオ」) 	<ul style="list-style-type: none"> 菜園で野菜を育てる主人公の姿を書いた物語を教材として、「生きている仲間」のつながりについて考える活動(「生きている仲間」) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災で逃げた途中に倒れた家の下敷きになった子どもを助けた一家の物語を教材として、一家の行動を自分に置き換えて考える活動(「助かった命」) 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の平和祈念公園で、祖母から沖縄戦のことを聞き、「命どうたからら」という言葉の意味を教わった主人公の物語を教材として、同じような意味の言葉を探し、意味や由来を考える活動(「命どうたから」) 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がんと闘いながらも亡くなった女の子と支え続けた家族の思いを描いた物語を教材として、登場人物の気持ちや家族に対する自分の思いについて交流する活動(「六さいのおよめさん」) 	<ul style="list-style-type: none"> 父親と一緒に鈴虫を育てる中で、命のつながりについて教えられた主人公の物語を教材として、命のつながりを自分の命についても考える活動(「すず虫」)
--	---	--	---	---	---	--	---

内容の構成・排列、分量等	○いじめの問題への対応							
	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」を題材とした「直接的教材」と「いじめ」を題材とせず「いじめをゆるさない心」を育てる「間接的教材」を組み合わせて構成し、いじめ防止の効果が高めることができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに関わる教材には「ともいきる」マークをいれ、深く考え他者と学び合うことを通して、互いに尊重し合いともによりよい社会を築く態度を養うことができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめをなくす」と明記された教材が各学年に掲載されており、いじめをしない、させない、見過ごさないための判断力、心情、実践意欲と態度を系統的に育成することができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題に結び付く教材とコラムから「ユニット」を設定し、自分が気付かないうちに友達に嫌な思いをさせていることがないかを振り返り、相手の権利を大切に考えることができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解などいじめの克服に繋がるユニットを設定し、いじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけることができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> コラム「みんな仲良く楽しい学校」を設け、よりよい人間関係やいじめのない学級生活を実現するにはどうすればよいかを児童が身をもって考えることができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの教育」を最重要テーマに掲げ、いじめ防止につながる教材を複数掲載し、いじめを生まない力を引き出し、他者とよりよく生きることについて議論することができるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年を通して、様々な内容項目において、いじめ問題に結び付く教材が複数掲載され、系統的にいじめに対応する力を育成することができるよう工夫がなされている。
	○情報モラルへの対応							
	<ul style="list-style-type: none"> 該当する単元に「じょうほうモラル」のマークを付けた教材が配置 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階に合わせながら、生活場面に即した教材が掲載され、 	<ul style="list-style-type: none"> 「情報モラルについて理解する」と明記された教材を配置し、安全情 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年を通して、道徳科の特性を踏まえた上で情報モラルの内容を 	<ul style="list-style-type: none"> 教材名の上にマークを提示し、学年の発達段階に応じて教材をバラ 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年を通して、「情報モラル」のコラムが配置されている。このこ 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年を通して、情報や情報機器を扱う際に気を付けるべきことを 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生以上で「情報モラル」について考えるページや高学年ではコラ

されている。 このことから、自ら主体的に情報モラルについて学ぶことができるよう工夫がなされている。	系統的に配置されている。また、情報モラルに関する教材にはマークがついているなど工夫がなされている。	報機器使用の学習が系統的に掲載されている。また、モラルスキルトレーニングを取り入れた体験的な学習ができるよう工夫がなされている。	扱ったコラムと教材を組み合わせた掲載をしている。このことにより、情報モラルに関して、自ら考えることができるよう工夫がなされている。	ンスよく配置している。このことにより一年間の学習の全体像や系統性が分かり、児童が主体的に考えることができるよう工夫がなされている。	とにより、安全かつ健康・健全な情報機器の使用のための知識を系統的に学習できるような工夫がなされている。	扱った教材が配置されている。さらに、「学び方のページ」を設けて解説を加えるなど、自らの考えを深めることができるよう工夫がなされている。	ムが巻末に配置されている。安全かつ健康・健全な情報機器の使用のための知識を系統的に学習できるような工夫がなされている。
--	---	--	---	---	---	---	---

○全体の分量							
・第1学年 全46教材 総ページ数125ページ (6%増)	・第1学年 全39教材 総ページ数164ページ (2%減)	・第1学年 全40教材 総ページ数130ページ (10%増)	・第1学年 全46教材 総ページ数144ページ (13%増)	・第1学年 全43教材 総ページ数188ページ (3%増)	・第1学年 全53教材 総ページ数152ページ (増減なし)	・第1学年 全37教材 総ページ数136ページ (6%増)	・第1学年 全36教材 総ページ数148ページ (10%減)
・第2学年 全48教材 総ページ数143ページ (4%増)	・第2学年 全40教材 総ページ数160ページ (9%減)	・第2学年 全41教材 総ページ数138ページ (6%増)	・第2学年 全48教材 総ページ数168ページ (11%増)	・第2学年 全45教材 総ページ数204ページ (増減なし)	・第2学年 全50教材 総ページ数160ページ (増減なし)	・第2学年 全39教材 総ページ数140ページ (6%増)	・第2学年 全37教材 総ページ数156ページ (5%減)
・第3学年 全52教材 総ページ数165ページ (3%増)	・第3学年 全40教材 総ページ数180ページ (4%減)	・第3学年 全42教材 総ページ数148ページ (9%増)	・第3学年 全50教材 総ページ数184ページ (5%増)	・第3学年 全45教材 総ページ数216ページ (増減なし)	・第3学年 全52教材 総ページ数176ページ (増減なし)	・第3学年 全39教材 総ページ数152ページ (3%増)	・第3学年 全39教材 総ページ数164ページ (7%減)
・第4学年 全52教材 総ページ数169ページ (3%増)	・第4学年 全40教材 総ページ数184ページ (10%減)	・第4学年 全42教材 総ページ数160ページ (11%増)	・第4学年 全50教材 総ページ数192ページ (4%増)	・第4学年 全45教材 総ページ数224ページ (増減なし)	・第4学年 全52教材 総ページ数180ページ (増減なし)	・第4学年 全39教材 総ページ数156ページ (3%増)	・第4学年 全39教材 総ページ数176ページ (6%減)
・第5学年 全53教材 総ページ数181ページ (3%増)	・第5学年 全40教材 総ページ数200ページ (2%減)	・第5学年 全41教材 総ページ数164ページ (8%増)	・第5学年 全51教材 総ページ数204ページ (4%増)	・第5学年 全45教材 総ページ数224ページ (増減なし)	・第5学年 全53教材 総ページ数184ページ (増減なし)	・第5学年 全39教材 総ページ数164ページ (3%増)	・第5学年 全39教材 総ページ数204ページ (7%減)
・第6学年 全53教材 総ページ数197ページ (3%増)	・第6学年 全41教材 総ページ数200ページ (2%減)	・第6学年 全42教材 総ページ数168ページ (11%増)	・第6学年 全51教材 総ページ数220ページ (6%増)	・第6学年 全45教材 総ページ数224ページ (増減なし)	・第6学年 全53教材 総ページ数188ページ (増減なし)	・第6学年 全39教材 総ページ数168ページ (2%増)	・第6学年 全39教材 総ページ数212ページ (7%減)

○自らを振り返るための工夫							
・各学年に、「学習の記録」や「学習の振り返り」、1年間の学習を振り返る「かがやく自分に」、「学習のまとめ」を配置	・各学年に、道徳の学びを、自分のこれらにつなげていくことを意識させる「つなげていこう」を配置	・各学年に、一年間の道徳の学習で心に残った授業とその理由を記入する「一年間の道徳の学習を振り返ろう」を配置	・各学年に、「学習のまとめ」の区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置	・各学年の別冊に、自分の意見や友達の意見、話合いの内容などを記入する自由記述欄を配置	・各学年に、授業後の心の動きや学びを継続し道徳性をより深め育む「学びの足あと」を配置	・各学年に、心に残ったことなどを記入する「心の宝物」を配置	・各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置

使用上の配慮等

	<p>○家庭や地域との連携を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年に、家庭や地域との連携を促す「付録つながる広がる」を配置 各学年の別冊に、学習内容を解説し、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」を配置 各学年に、学校と家庭との連携を促すこととした「家の人から一言」を配置 各学年に、長期休業中の自主的な学びや家庭での話し合いにつなげる「夏休みの前に」、「冬休みの前に」等を配置 各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置 各学年に、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示した「ひろげる」を配置 各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置 各学年の別冊に、家の人に見てもらったことを記録するチェック欄を設けた「心のしおり」を配置 							
	<p>○使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 道徳の学習の進め方を示すページを設定 カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの採用 							
指導上の配慮等	<p>○地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭川市の地域素材は本文1点、写真5箇所、地図1箇所 記載なし 旭川市の地域素材は本文1点、写真3箇所、地図1箇所 記載なし 旭川市の地域素材は本文1点、写真2箇所、地図1箇所 記載なし 旭川市の地域素材は本文1点、写真4箇所、地図1箇所 記載なし 							
	<p>○ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用して教材内容に関連した動画を見ることで、児童が興味・関心を高めたり学習をさらに深めたりすることができるよう工夫 各教材にQRコードによる補助資料をつけるなど、児童が教材に対して興味をもち、理解を深めることができるよう工夫 教材での学びをさらに深め、充実させる「まなびリンク」があり、ICTを有効に活用することで、児童が主体的に調べたり、考えたりする学習ができるよう工夫 声優による朗読や、オリジナル写真や動画、デジタルコンテンツの紹介など、児童の主体的な思考や議論を図ることができるよう工夫 授業で活用できる動画資料や関連画像をホームページ上でデジタル教材が準備され児童が興味・関心を高めることができるよう工夫 記載なし インターネット上の補助教材にアクセスすることができ、教材に関連する写真を見たり、音声を聞き学びを深め広げたりすることができるよう工夫 インターネットを使用することで、関わりのある情報を活用できるように教材が配置され、児童の主体的な学びを深めることができるよう工夫 							
	<p>○小・中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「これからもかがやく自分に」への記入により、児童が一年間の学習を振り返り中学校生活に思いを膨らませることができるよう配慮 別冊道徳ノート「まなび」において、心に残った話や考えたこと、感じたことを振り返ることができ児童が成長を実感できるよう配慮 第6学年の「卒業に向けて」では、どのような中学生になりたいかについて考えさせることで中学校生活へ思いを膨らませることができるよう配慮 第6学年「1さいから100さいのゆめ」「あなたへのメッセージ」により、児童が中学校やその先の生き方まで見通すことができるよう配慮 別冊「道徳ノート」において、道徳の学習で学んだことを記入し、自分自身の成長を確かめることができるよう配慮 第6学年の「わたしはひろがる」では自分の可能性や進路、将来の夢について考えさせ、中学校生活への思いを膨らませることができるよう配慮 5年、6年の教科書の最後に、「学びの足あと」のページを設けており、自分の成長を振り返り、中学校へ進学できるよう配慮 5年、6年の別冊道徳ノートの「学習の記録」では、自らを振り返って成長を実感し、中学校に向けて課題や目標をもつことができるよう配慮 							

<p>本市児童の学習の状況等</p>	<p>○道徳的価値を多面的・多角的に考える力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な読み物教材を取り入れ、多様な考えを引き出せるよう構成 考えるための手順となる「考えよう・考えよう」のステップ・出会おう・ふれ合う」を配置し、多面的・多角的に考えることができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「きづき」と「まなび」の2冊の教科書で構成し、多様な考えに出会えるよう構成 学習の進め方を示すガイダンスページを配置し、児童が道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」の提示により多様な考えを引き出せるよう構成 コラムや写真、資料などを多数掲載し、児童が道徳的価値について多面的・多角的に考えることができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 生活場面に密着した内容や、興味・関心を抱きやすい話題を中心に構成 一つの事柄について異なる二つの視点から考えさせ、物事を様々な方向から見ることができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> コラム「心のベンチ」が適宜配置され、広く深く、考えられるよう構成 「考えてみよう」「見つけよう」「生かそう」では、3つの発問例が示され、道徳的価値について多面的・多角的な見方、考え方ができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文に加え、写真をメインにした教材や1枚絵、地図等が掲載されており、多彩な掲示形式によって構成 発問を巻末とページ下部に配置するなど、児童が様々な視点や考えをもつことができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「深めよう」「つなげよう」「広げよう」「やってみよう」の4種類の「学び方のページ」で構成 学習への見通しをもちながら、多様な見方や考え方が交流ができるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう 話し合おう」では、話し合う協働的な学習ができるよう構成 他者の多様な考え方や感じ方に触れることができ、多面的・多角的なものを見方や考え方へつながるよう工夫
	<p>○道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末「学習のまとめ」において、授業後や長期休業前に学習を振り返り、心に残った話、感じたこと等を、記述できるよう工夫 自分自身の成長を実感し、これからの課題や新たな目標を見付けることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「まなび」には「心のパレット」が設けられており、児童が道徳的価値を見付けて自分に引き寄せ考えを育む工夫 道徳的価値を自分事として考えたりすることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」が設けられ、児童が道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める力を育むよう工夫 「やってみよう」を配置し、役割演技で心の変容を実感できるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの記録」が設けられており、成長を実感しこれからの課題や目標を見付けることができるよう工夫 価値理解を深めるコラムや漫画形式の教材を掲載し、道徳的価値を自分ごととして捉えることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 教材に応じて3つの発問が全教材に示され、問題を解決するような学習や体験的な学習を多く取り入れるよう工夫 学習を通して、自分自身のこととして価値理解を深めることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 重点主題教材を設け、道徳的価値の理解を深める力を育むことができるよう工夫 イラストや新聞記事、図による説明を多く取り入れて分かりやすく提示し、考えることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の後ろに書き込み欄が設けられ、自分の思いや考えを可視化することができるよう工夫 自分の思いや考えを明確にし、道徳的価値を自分自身のこととして考えることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目ごとに、道徳的価値に向かう問いを掲載する工夫 問いと向き合うことで道徳的諸価値についての理解をもとに自分を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができるよう配慮
<p>その他</p>	<p>○冊数</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年本冊と分冊の2分冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年本冊と分冊の2分冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年1冊で構成 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年本冊と分冊の2分冊で構成

発行者 観 点	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書	日本文教出版	光文書院	学 研	廣 済 堂
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教	<p>○主として自分自身に関することのうち「個性の伸長」について</p> <p>(第1学年) 主人公が、自分のよいところを友達に見つけてもらって嬉しくなる物語を教材として、自分や友達のよいところを伝えたり見つけたりする活動(「ええところ」)</p> <p>(第1学年) 登場人物が好きなことを発表するお話を教材として、自分や友達のよさに気付く大切さについて考える活動(「すてきがいっぱい」)</p> <p>(第1学年) 様々な友達が描かれた絵と文章を教材として、友達のよいところ、自分のよいところを見つけたり発表する活動(「わたしのよいところ」)</p> <p>(第1学年) 家族それぞれの「じょうず」なところを挙げた上で、そんな自分のことを「ほめじょうず」であると締めくくっている児童詩を教材として、自分や友達の「じょうず」なところを見つけたり、見つけ直したりする活動(「みんなじょうず」)</p> <p>(第1学年) 子ペンギンが母親ペンギンに自分のよいところを教えてもらう物語を教材として、自分のよいところを見つけたりする活動(「ぼくは小さくてしろい」)</p> <p>(第1学年) 自分には「よいところ」がないと悩む主人公が、家族から「よいところ」を教えられて励まされる物語を教材として、自分や友達の「よいところ」を見つけて教えあったり、家族に自分の「よいところ」を聞いてみる活動(「ぼくにもあるかな」)</p> <p>(第1学年) アンパンマンを生んだやなせたかしさんのあきらめずに好きな絵を書き続けた思いを教材として、自分のよさや好きなことについて考える活動(「大すきだから」)</p> <p>(第1学年) 友達のよさを、はなまると表した文と絵を教材として、友達や自分のよいところを見つけたり、自分がほめられてうれしかったりすることを考えたりする活動(「みんなのはなまる」)</p>							
<p>○主として人との関わりに関することのうち「友情、信頼」について</p> <p>(第4学年) 仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、悩みながらも料金が不足していたことを伝えようとした主人公と自分の考えとを比較して考える活動(「大きな絵はがき」)</p> <p>(第4学年) 仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、本当の友達とは何かを考えさせる活動(「絵はがきと切手」)</p> <p>(第4学年) クラスメイト全員の牛乳パックの片づけをやらされている友達が、本当の気持ちを聞かれて、「ぼくは、ああでもないし仲間に入れないから」と涙ぐんだ物語を教材として、自分だったらどう声をかけるかを考える活動(「仲間だから」)</p> <p>(第4学年) 友達の赤鬼に尽くした青鬼と、青鬼の思いに気付いた赤鬼の友情を描いた物語を教材として、友達とよりよい関係を築くために大切なことについて考える活動(「泣いた赤おに」)</p> <p>(第4学年) 仲のよい友人から届いた定形外の絵はがきの料金が不足していたことを伝えるかどうか思い悩む物語を教材として、悩みながらも結果として伝えようとした主人公と、自分の考えとを比較する活動(「絵はがきと切手」)</p> <p>(第4学年) 北京オリンピックのソフトボール女子で試合を戦う選手たちと、怪我で代表から外れ、観客席から応援する選手とが、心を通いあわせて戦い、優勝した物語を教材として、友達との「協力」の仕方について考える活動(「十六番目の代表選手」)</p> <p>(第4学年) チームの仲間とともに戦い抜くことができた喜びを試合の結果以上に大切に思うなでしこジャパンの姿を描いた作品を教材として、本当の仲間とはどんなものなのかについて交流する活動(「なみだとえがおの『なでしこジャパン』」)</p> <p>(第4学年) 学級の中で運動の苦手な仲間に対する周りの子供たちの心の動きや対応から、最後にはその仲間を励ます子供たちを書いた物語を教材として、友達とよりよい関係を築いていくことについて考える活動(「同じ仲間だから」)</p>								
<p>○主として集団や社会との関わりに関することのうち「家族愛、家庭生活の充実」について</p> <p>(第5学年) 入院した母親に代わって遠足のお弁当を作ってくれた父親に、始めは困惑するが、次第に喜びを感じる話を教材として、お弁当を受け取る少年の思いを考える活動(「お父さん」)</p> <p>(第5学年) 父親が入院して看病のため忙しい母親に代わり、家事をする女の子の物語を教材として、家族の一員としてどのようなことができるかを考える活動(「ベルフラワー」)</p> <p>(第5学年) 認知症の症状が現われはじめた祖父に戸惑う主人公と、その祖父のためにできることをみんなで話しあった家族の物語を教材として、自分にとって家族とはどのような存在</p> <p>(第5学年) 祖母に優しい態度を取れないで居る主人公を描いた物語を教材として、主人公の家族にとって祖母はどのような存在なのかを考える活動(「祖母のりんご」)</p> <p>(第5学年) 分担された家事を負担に思う主人公が、家族みんなの幸せを考えて家事をする両親の思いに気付く物語を教材として、実際に担っている家事や今後できそうなことを考える</p> <p>(第5学年) 新しくやってきたイギリス人の先生が、自分の家族を詳しく紹介してくれた物語を教材として、家族に様々な質問をする「ビンゴゲーム」の活動(「家族の紹介」)</p> <p>(第5学年) 入院生活から帰ってきた母親を支えようとする主人公とその家族の姿が描かれた実話を教材として、主人公の思いや家族の大切さについて話し合う活動(「ぼくがいるよ」)</p> <p>(第5学年) 聴覚障害と言語障害をもつ両親に名前を呼んでももらえない辛さを級友とのけんかや気付き、その辛さを両親にぶつけていく主人公に対して手話で心の思いを伝える物語を教</p>								

	んのおべんとう)「卵焼き」		かを考える活動(「わたしにできることを)」		活動(「家族のために)」			材として、両親の願いを知り家族の大切さについて考える活動(「ぼくの名前よんで)」
	○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するこのうち「生命の尊さ」について							
	(第3学年)東日本大震災で祖父母を失った少年が、祖父母との楽しい思い出に支えられて前向きに生活する物語を教材として、少年が祖父母に見てほしいと感じている姿を考える活動(「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」)	(第3学年)主人公たちがいじめを避けていたヒキガエルを、荷車を背負ったロバがひかないようによけて通っていった姿に心打たれる物語を教材として、命の尊さについて考える活動(「ヒキガエルとロバ」)	(第3学年)白血病と戦い、7才で亡くなった丹後光祐さんと、彼が大切に育てていたアサガオを骨髄バンクの運動に役立てることにした母親の物語を教材として、このアサガオにはどのような意味や力があるのかを考え、話しあう活動(「光祐くんのアサガオ」)	(第3学年)菜園で野菜を育てる主人公の姿を書いた物語を教材として、「生きていくな」のつながりについて考える活動(「生きていくな」)	(第3学年)阪神淡路大震災で逃げる途中に倒れた家の下敷きになった子どもを助ける一家の物語を教材として、一家の行動を自分置き換えて考える活動(「助かった命」)	(3学年)沖繩の平和祈念公園で、祖母から沖繩戦のことを聞き、「命どうしたから」という言葉の意味を教わった主人公の物語を教材として、同じような意味の言葉を探し、意味や由来を考える活動(「命どうしたから」)	(第3学年)小児がんと闘いながらも亡くなった女の子と支え続けた家族の思いを描いた物語を教材として、登場人物の気持ちや家族に対する自分の思いについて交流する活動(「六さいのおよめさん」)	(第3学年)父親と一緒に鈴虫を育てる中で、命のつながりについて教えられた主人公の物語を教材として、命のつながりをも自分の命についても考える活動(「すず虫」)
内容の構成・排列、分量等	○いじめの問題への対応							
	「いじめ」を題材とした「直接的教材」と「いじめ」を題材とせず「いじめをゆるさない心」を育てる「間接的教材」を組み合わせ構成し、いじめ防止の効果が高めることができるよう工夫されている。	いじめに関わる教材には「ともにいきる」マークをいれ、深く考え他者と学び合うことを通して、互いに尊重し合いともによりよい社会を築く態度を養うことができるよう工夫されている。	「いじめをなくす」と明記された教材が各学年に掲載されており、いじめをしない、させない、見過ごさないための判断力、心情、実践意欲と態度を系統的に育成することができるよう工夫されている。	いじめ問題に結びつく教材とコラムから「ユニット」を設定し、自分が気付かないうちに友達に嫌な思いをさせていることがないかを振り返り、相手の権利を大切に考えることができるよう工夫されている。	いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解などいじめの克服に繋がるユニットを設定し、いじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけることができるよう工夫されている。	コラム「みんな仲良く楽しい学校」を設け、よりよい人間関係やいじめのない学級生活を実現するにはどうすればよいかを児童が身をもって考えることができるよう工夫されている。	「いのちの教育」を最重要テーマに掲げ、いじめ防止につながる教材を複数掲載し、いじめを生みださない力を引き出し、他者とよりよく生きることについて議論することができるよう工夫されている。	各学年を通して、様々な内容項目において、いじめ問題に結びつく教材が複数掲載され、系統的にいじめに対応する力を育成することができるよう工夫されている。
	○情報モラルへの対応							
	該当する単元に「じょうほうモラル」のマークを付けた教材が配置されている。このことから、自ら主体的に情報モラルについて学ぶことができるよう工夫されている。	児童の発達段階に合わせながら、生活場面に即した教材が掲載され、系統的に配置されている。また、情報モラルに関する教材にはマークがついているなど工夫されている。	「情報モラルについて理解する」と明記された教材を配置し、安全情報機器使用の学習が系統的に掲載されている。また、モラルスキルトレーニングを取り入れた体験的な学習ができるよう工夫されている。	各学年を通して、道徳科の特性を踏まえた上で情報モラルの内容を扱ったコラムと教材を組み合わせ掲載している。このことにより、情報モラルに関して、自ら考えることができるよう工夫されている。	教材名の上にマークを提示し、学年の発達段階に応じて教材をバランスよく配置している。このことにより一年間の学習の全体像や系統性が分かり、児童が主体的に考えることができるよう工夫されている。	各学年を通して、「情報モラル」のコラムが配置されている。このことにより、安全かつ健康・健全な情報機器の使用のための知識を系統的に学習できるよう工夫されている。	各学年を通して、情報や情報機器を扱う際に気を付けるべきことを扱った教材が配置されている。さらに、「学び方のページ」を設けて解説を加えるなど、自らの考えを深めることができるよう工夫されている。	3年生以上で「情報モラル」について考えるページや高学年ではコラムが巻末に配置されている。安全かつ健康・健全な情報機器の使用のための知識を系統的に学習できるよう工夫されている。

第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第4学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ
第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第5学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ
第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ	第6学年 個性の伸長 1教材, 4ページ 友情, 信頼 2教材, 6ページ 家族愛, 家庭生活の充実 1教材, 5ページ 生命の尊さ 3教材, 9ページ

使用上の配慮等

<p>○自らを振り返るための工夫 各学年に、「学習の記録」や「学習のふり返し」、1年間の学習を振り返る「かがやく自分に」、「学習のまとめ」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、道徳の学びを、自分のこれからにつなげていくことを意識させる「つなげていこう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、1年間の道徳の学習で心に残った授業とその理由を記入する「1年間の道徳の学習をふり返ろう」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、「学習のまとめ」の区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年の別冊に、自分の意見や友達の意見、話合いの内容などを記入する自由記述欄を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、授業後の心の動きや学びを継続し道徳性をより深め育む「学びの足あと」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、心に残ったことなどを記入する「心の宝物」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>	<p>各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>
<p>○家庭や地域との連携を深めるための工夫 各学年に、家庭や地域との連携を促す「付録つながる広がる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年の別冊に、学習内容を解説し、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、学校と家庭との連携を促すことを目的とした「家の人から一言」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、長期休業中の自主的な学びや家庭での話合いにつなげる「夏休みの前に」、「冬休みの前に」等を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示した「ひろげる」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>	<p>各学年の別冊に、家の人に見ても良かったことを記録するチェック欄を設けた「心のしおり」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。</p>

	る。	ることができるようにしている。	うになっている。	解を深めることができるようになっていく。	きるようになっていく。	きるようになっていく。	とができるようになっていく。	
	○使用上の便宜 ・道徳の学習の進め方を示すページを設けている。 ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが採用されている。							
	○地域素材 旭川市の地域素材は本文1点、写真5箇所、地図1箇所							
指導上の配慮等	記載していない。	旭川市の地域素材は本文1点、写真3箇所、地図1箇所	記載していない。	旭川市の地域素材は本文1点、写真2箇所、地図1箇所	記載していない。	旭川市の地域素材は本文1点、写真4箇所、地図1箇所	記載していない。	
	○ICTの活用 インターネットを活用して教材内容に関連した動画を見ることで、児童が興味・関心を高めたり学習をさらに深めたりすることができるよう工夫されている。							
	各教材にQRコードによる補助資料をつけるなど、児童が教材に対して興味をもち、理解を深めることができるよう工夫されている。	記載していない。	声優による朗読や、オリジナル写真や動画、デジタルコンテンツの紹介など、児童の主体的な思考や議論の活性化を図ることができるよう工夫されている。	授業で活用できる動画資料や関連画像をホームページ上でデジタル教材が準備され児童が興味・関心を高めることができるよう工夫されている。	記載していない。	インターネット上の補助教材にアクセスすることができ、教材に関連する写真を見たり、音声を読み学んだりすることができるよう工夫されている。	インターネットを使用することで、関わりのある情報を活用できるように教材が配置され、児童の主体的な学習を深めることができるよう工夫されている。	
	○小・中連携 「これからもかがやく自分」への記入により、児童が一年間の学習を振り返り中学校生活に思いを膨らませることができるよう配慮されている。							
	5年、6年の別冊道徳ノート「なび」において、心に残った話や考えたこと、感じたことを振り返ることができるよう児童が成長を実感できるよう配慮されている。	第6学年の「卒業に向けて」では、どのような中学生になりたかについて考えさせることで中学校生活へ思いを膨らませることができるよう配慮されている。	第6学年「1さいから100さいのゆめ」「あなたへのメッセージ」により、児童が中学校やその先の生き方まで見通すことができるよう配慮されている。	別冊「道徳ノート」において、道徳の学習で学んだことを記入し、自分自身の成長を確かめることができるよう配慮されている。	第6学年の「わたしはひろがる」では自分の可能性や進路、将来の夢について考えさせ、中学校生活への思いを膨らませることができるよう配慮されている。	5年、6年の教科書の最後に、「学びの足あと」のページを設けており、自分の成長をふり返り、中学校へ進学できるよう配慮されている。	5年、6年の別冊道徳ノートの巻末の「心のしおり」では、自らを振り返って成長を実感し、中学校に向けて課題や目標をもつことができるよう配慮されている。	
本市児童の学習の状況等	○道徳的価値の多面的・多角的な捉え 主題やあらすじ、主な登場人物を示し、議論する時間を確保することで深く考える力を育むように構成されている。また、「考えよう」「考えるス							
	各教材において、友だちとの意見の交流、家族や地域の方との交流ができるように構成されている。このような学習活動を通して、多様な考	「導入・展開・終末」の3段階の学習の流れや主題がわかるよう構成されている。また、コラムや写真、資料などを多数掲載し、児童が道徳	生活場面に密着した内容や、興味・関心を抱きやすい話題を中心に構成されている。また、一つの事柄について異なる二つの視点から考えさ	コラム（心のベランチ）が適宜配置されている。このコラムを手がかりとして道徳的価値について多面的・多角的な見方、考え	教材文に加え、写真をメインにした教材や1枚絵、地図等が掲載されており、多彩な掲示形式によって構成されている。また、発問を巻末とペ	「深めよう」「つなげよう」「広げよう」「やってみよう」の4種類の「学び方のページ」で構成されている。学習への見通しをもちながら、多様	「考えよう 話し合おう」では、話し合う協働的な学習ができるように構成されている。他者の多様な考え方や感じ方に触れることができ、多	

